

【一覧表】※実践事例の中にみられた工夫の一部をまとめました。

	工夫のねらい	工夫のポイント	実践事例
子供が学習課題を選択・決定する場面	子供が自ら学習に取り組めるように	単元構想を工夫	小国① 、 小生① 、 小総① 、 小総② ／ 中社① 、 中社② 、 中理② 、 中音② 、 中外① 、 中総② 、 中道②
		子供がこだわりたくなる学習課題を準備	小国② 、 小社① 、 小外① 、 小外② 、 小家② ／ 中国① 、 中国② 、 中数② 、 中外① 、 中特①
		子供の実態に応じた選択課題を準備	小体① ／ 中保① 、 中道①
		ルーブリックを提示	小理② 、 小外② 、 小道② ／ 中社① 、 中外①
	子供の「学びたい」「解決したい」を引き出すために	日常生活を意識	小算① 、 小算② 、 小生① 、 小総② 、 小家① 、 小道① 、 小特① 、 小特② ／ 中数① 、 中数② 、 中総② 、 中技① 、 中家① 、 中特②
		課題を明確化	小社② 、 小理① 、 小体② 、 小総① 、 小特② ／ 中保② 、 中技② 、 中家②
		導入を工夫	小社① 、 小音① 、 小図① ／ 中理① 、 中道②
	子供が友達の考えなどとの「ずれ」を意識できるように	学級全体の結果を共有	小音② 、 小生① ／ 中音① 、 中家① 、 中特②
子供が学び方を選択・決定する場面	子供に学習の見通しをもたせるために	活動の目的や課題を可視化	小国① 、 小外① 、 小外② 、 小特① 、 小特② ／ 中美① 、 中技② 、
	子供が学習環境を選択できるように	学びの場をデザイン	小図② 、 小生② 、 小道①
		学び方の選択肢を設定	小国② 、 小算① 、 小理① 、 小理② 、 小図② 、 小体① 、 小体② 、 小総② 、 小道② 、 小特② ／ 中社② 、 中理① 、 中総① 、 中特②
	子供が自分の学びに必要なものを選択できるように	参考資料等を共有	小音② 、 小家① ／ 中美② 、 中保② 、 中家②
		動画や音源等の教材を共有	小算② 、 小生② ／ 中国① 、 中国② 、 中音① 、 中音②
	子供の学びをつなげるために	一人ひとりの学び方を共有	小国① 、 小特①
		一人ひとりの考えを共有	小社② 、 小算② 、 小音① 、 小図① 、 小家② ／ 中理② 、 中音① 、 中音② 、 中美② 、 中保① 、 中総① 、 中技① 、 中技② 、 中道①
		自然な協働を生む学習環境を設定	小社① 、 小理② 、 小図① 、 小図② 、 小外① 、 小家① 、 小家② ／ 中数① 、 中美① 、 中技② 、 中道② 、 中特①
	子供が自らの学習を振り返る場面	子供が自分の学びを自覚できるように	全体で振り返る場を設定
振り返りの時間を確保			小家② ／ 中社① 、 中理② 、 中外② 、 中総① 、 中家②
子供が「学習内容」や「学び方の変化」を振り返られるように		ワークシートを工夫	小国② 、 小理① 、 小道① ／ 中数② 、 中理① 、 中技① 、 中家② 、 中特②
		視点を明確化	小社② 、 小総① ／ 中社② 、 中理① 、 中外②
		学びの蓄積を共有	小音② 、 小体① 、 小体② 、 小道② ／ 中数① 、 中美② 、 中保① 、 中外② 、 中総② 、 中道①
評価計画を考える		教師が子供の学習改善を促すために	想定したつまづきに応じた補助教材を準備
	中間指導後に作戦タイムを設定		中外② 、 中特①
	教師が子供の学びを把握し、適切な支援をするために	形成的な評価場面を設定（成果物の共有）	中国① 、 中国②
		学習状況の把握	小社② 、 小算① ／ 中外②
		振り返りを形成的評価のための評価資料として活用	小社② ／ 中保①